

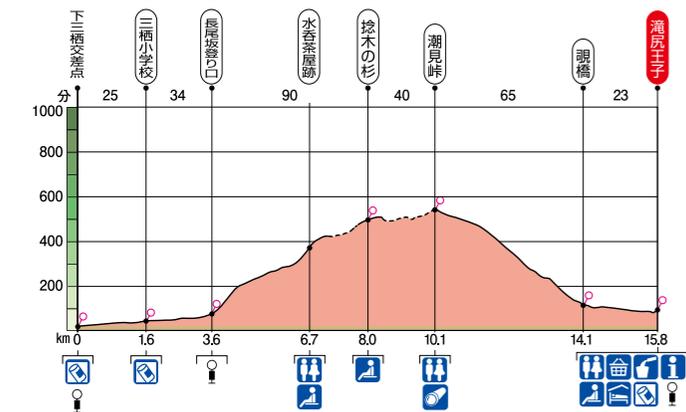
# 潮見峠越

# 下三栖～滝尻王子

長尾坂を通る「潮見峠越」は、近世に入って以降、熊野詣でのルートのひとつとして賑わった時期があります。苔むした道端の石に時代を感じることが出来ます。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にしてください。

災害や工事により、熊野古道の通行止めや迂回路の経由、路線バスの運休等が発生する場合があります。歩く前に最新の情報をご確認ください。



## スタート地点までのアクセス

路線バスは月・金以外の運行となります。月・金以外は下三栖交差点又は長尾坂登り口までタクシーでお越しください。

## お帰りは

「鍛冶屋川口」バス停又は「滝尻」バス停でゴールし、明光バス又は龍神バスを利用して「紀伊田辺駅」へ戻ります。

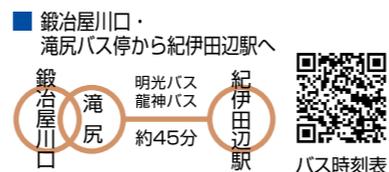


距離 : 15.8km  
 歩行時間 : 4.5~5時間  
 積算上昇高度 : 530m  
 積算下降高度 : 440m

----- 熊野古道(未舗装区間)  
 —— 熊野古道(舗装区間)



バス時刻表



バス時刻表

## 近世の石畳道と紀伊水道を望む峠 長尾坂・潮見峠越

田辺市郊外の三栖地区から長尾坂・捻木峠を経由して潮見峠に至る古道です。長尾坂はこのルートのうち、上三栖から水呑峠に至るおよそ 1.7 kmの坂道をさします。長尾坂も潮見峠越も南北朝時代に開設されたといわれ、以降、田辺と本宮を結ぶ最短ルートとして頻りに利用されました。

## 清姫伝説

このルートにある捻木の杉は、歌舞伎や浄瑠璃でも知られる安珍清姫伝説ゆかりの地としても有名です。

一般的に語られる物語では、清姫は、真砂(田辺市中辺路町真砂)の荘司の娘で、熊野参詣に向かう僧・安珍は、その屋敷を宿にしていた。

安珍に一目惚れした清姫は、安珍に言い寄り、安珍は熊野詣の帰りに連れて帰ると約束しましたが、安珍はその約束を破って帰ってしまいました。

逃げる安珍を追いかけた清姫は、横山の中腹の杉の木により登り、はるか先を逃げる安珍を見つけ、悔しさのあまり枝を捻じ曲げました。これが捻木の杉です。

その後、安珍を追いかける清姫は大蛇に姿を変え、日高川の道成寺の鐘に隠れていた安珍を鐘もちとも焼き殺してしまいました。

しかし、清姫の故郷の真砂に伝わる話は違い、清姫は悲しみのあまり富田川の淵に身を投げたと語られ、清姫の悲恋を伝える史跡がいくつも残されています。



長尾坂



捻木の杉



このエリアのお問い合わせ

田辺市観光センター 0739-34-5599  
 熊野古道館 0739-64-1470

